

民俗村 飛騨の里 館内図

【標高】 飛騨の里 647m
高山駅 573m
【敷地面積】 約13万㎡(約4万坪)

立山 3,015m 薬師岳 2,926m 黒部五郎岳 2,840m 笠ヶ岳 2,898m 錫杖岳 2,168m 槍ヶ岳 3,180m

飛騨の里 エリア



民俗村エリアへ



* 各民家では日替わりでわら細工・さしこ細工・千鳥格子などの実演や体験を行っています。

* スタンプクイズラリー大好評!

※文化財を大切にしましょう。
タバコは指定の場所をお願いします。
(喫煙所は入口、休憩所にあります)

—おすすめコース—

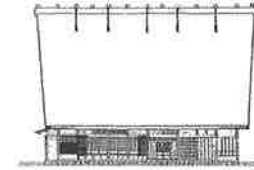
- ◆15分コース(ちょっと体感派)
五阿弥池を中心に⑥⑨④を回る。
(車椅子でも安心して回れます)
- ◆30分コース(実感派)
①②④⑥⑨⑩⑫⑬⑯⑰⑲⑳㉑㉒を回る。
- ◆1時間コース(ゆったり派)
飛騨の里を一周する。

2時間コース～半日コース(じっくり派)
飛騨の里エリア～文学散歩道～民俗村エリア
※飛騨の里エリアと民俗村エリアは約700m離れています。

国指定の重要文化財

4 旧若山家

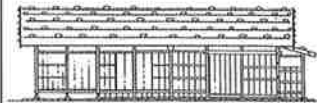
庄川造りといわれる入母屋造りから白川村の合掌造りに移行する構造が見られ、合掌造りの発展を残している唯一の建物です。



(高山市庄川町下滝・江戸中期1751年)

6 旧田中家

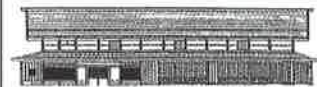
文化年間、高山の国学者田中大秀が田舎(小作を管理する建物)として使用した建物で、柱や床板に手斧の痕が美しく残っています。



(高山市冬頭町・江戸中期1700年代)

12 旧田口家

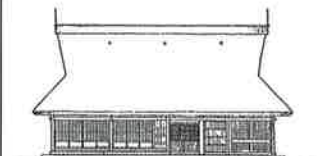
間口13軒、奥行8間。代々名主を務めた大きな家で集会に利用されたため部屋数が多くあります。飛騨地方の最南端で美濃との国境にあつたため、雨戸の外側に廊下があり、雪の重みに弱い造りになっています。



(下呂市金山町卯野原・江戸後期1809年)

21 旧吉真家

この建物はムカイ柱という、木の股を利用した柱を使っています。安政5年の大地震の時には、ほとんどの民家が全壊した中、唯一無傷で倒壊を免れた民家です。



(飛騨市河合町角川・江戸中期1700年代)

国指定の重要有形民俗資料

- 飛騨のそりコレクション(23点)
- 庄川の養蚕用具(230点)
- 飛騨の山村生産用具(989点)

おもな資料の展示民家

- 糸紡ぎ・織物……………①旧新井家
- クレヘギ用具……………②旧中藪家
- 山村生産・生活用具…⑥旧田中家⑯旧道上家⑳旧吉真家
- 養蚕の流れと用具……⑨旧西岡家
- そりコレクション……⑰旧八月一日家